

キャラクター名  
黒蜜華子

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ウロボロス		ワークス	占い師	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	28 %	
出自	親戚と疎遠	経験	大きな転機	邂逅	白露明日香	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	9
精神	3	1	3			7	戦闘移動	14
社会	3	0	0			3	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	5		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:	2		知識:スピリチュアル			情報:噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
Dロイス「記憶探索者」	P	N			
白露明日香	P 憧憬	N 疎外感			
見た未来	P 執着	N 恐怖			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	6	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:ウロボロス	2	2						
効果:								
原初の赤:雷の槍	1	3	メジャー	視界		対決		
効果: 攻撃力+【LV×2+4】/ダイス-1個/同エンゲージ不可								
エクспロージョン	3	3	メジャー	視界	範囲(選択)	対決		
効果: 攻撃力+8の射撃攻撃。1シナリオLV回。								
原初の黒:完全なる世界	3	8	メジャー			対決	100↑	
効果: 攻撃ダイス+【LV+1】個/リアクションのクリティカル値+1								
オーバードーズ	1	4	メジャー				100↑	
効果: エフェクトレベル+2/上限突破可/使用回数は増えない								
奇跡の雫	1	6	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: 戦闘不能回復HP【LV×5】1シナリオ1回								
イージーフェイカー:ブラッドリーディング	1	1						
効果: 血や涙でその時の他人の感情を読み取る。侵蝕率基本値を+1								
シャドウダイバー	1							
効果: 影踏みで感情を読み取る。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

占いの好きな普通の(?)女子高生。  
人当たりはよいが、自分の心の中を見られたくないという思考の持ち主で、周りからはわかりにくい人と思われている。  
親が転勤族。幼少期からの度重なる転校のせいで親のいいなりになることが多く、そのため自分の意志や気持ちを尊重することが苦手。  
自分の指針となるものがなく、基本的には占いの結果や積極的な人に従う。  
また、両親は共働き。そのため家族というものに関しての感情に疎い。両親は嫌いではないが、好きでもない。自分の人生に対し絶対の決定権を持つが、愛情は希薄。

そんな家庭環境が異常であることなど気がついているので、「自分のこと」を話したらない。  
彼女にとって欲しいものは同情ではなく、「普通」なのだから。

転勤族ゆえ友達というものを作ったことがなく、ただいじめられたくは無いので普通の女の子を演じている。占い好きは誰にも言ったことがない(朝の占い程度の話題は出す)。  
しかし高校に入学する際、両親から転勤はもうしないことを告げられた。  
そのため、初めて長く人との関係を築けることに無意識に喜びを感じている。  
その喜びは深く、彼女は知らず知らずのうちに他人に同情的になり、知らなくてもいい他人の痛みを自ら負っている。

白露明日香は最初に話しかけてくれた友達?だ。  
(?なのは友達という感覚がまだ実感できてないからである)  
優しくしっかりした彼女は華子に安心感を与えている。  
彼女がふとした時にする寂しげな表情に気がついており、彼女の痛みを知りたいと思っている。  
その行為が彼女のためか、自分のためかは分かっていないが。